

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

平成26年4月17日

協議会名： 砂川市地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通ネットワーク計画等の 計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共交通や高齢者等の居住状況の整理 ・住民ニーズ把握調査 ・実証調査 ・効率的で利便性が高く持続可能な交通ネットワークの構築に向けた検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なデータの整理、バス乗降調査などにより、市内の公共交通や高齢者等の居住状況を整理した。 ・住民を対象にアンケートを実施し、買物や通院などにおける交通行動、既存路線バスの問題点などについて把握した。 ・市内全域において、有償のコミュニティバスや乗合タクシーを運行し、新たな公共交通の利用実態等を把握した。 ・新たな公共交通の導入などについて検討し、計画素案を作成した。 	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>砂川市の今後の人口減少・少子高齢化の進行状況、また中心市街地の活力の低下等を考慮し、JRや既存バス路線への乗り継ぎや公共施設・商業施設への接続を考慮した新たな公共交通の導入等、効率的で利便性が高く持続可能な地域公共交通体系を構築する。</p> <p>なお、平成26年度は再度実証運行を実施し、事業の浸透を図ったなかで、利用状況や利用者の意見、交通事業者への影響などを検証し、引き続き新たな公共交通の導入について検討を進める。</p> <p>平成27年度以降、新たな公共交通の導入をすることとなった場合は、確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の活用を予定している。</p>